

中心市街地 エリアビジョン(素案) ～官民連携でつくる松江のまちなか～

江戸期の歴史・文化を今に伝える 「松江城周辺ゾーン」

- ・歴史的街並みの保存と形成
- ・江戸期文化の発信と体験
- ・大手前駐車場の交流広場化

■全体コンセプト ～車中心から人中心のまちなかへ～

- ①豊かな日常の中に、松江市ならではの歴史・文化が薫る松江のまちなかへ
- ②歴史・文化・水辺を活かした、居心地が良く歩きたくなる松江のまちなかへ
- ③若者が活躍する松江のまちなかへ

■L字の骨格

- ①歴史・文化・水辺を活かす6つの交流ゾーン
- ②人々の交流を生む滞留拠点
- ③滞留拠点を結ぶまち歩きルート・2次交通

近代建築群を活かした、新たな挑戦が生まれる 「殿町周辺ゾーン」

- ・近代建築物を巡るまち歩きエリア
- ・安心して歩ける歩行空間の創出
- ・空き土地の有効活用の推進
- ・カラコロ工房の体験工房化

日常の営みが水面に映える 「かわ・まち回遊ゾーン」

- ・人がゆっくり水辺に親しむ空間づくり
- ・対岸から美しく映える街並みの形成
- ・日常的な水辺空間の利活用の推進

松江しんじ湖温泉駅周辺湖畔

人が集い、湖畔を楽しむ 「湖畔ゾーン」

- ・新庁舎と一体となった湖畔の整備
- ・日常的な水辺空間の利活用の推進
- ・松江しんじ湖温泉駅から殿町方面へ安全に歩くことができる歩道の整備

歴史・文化を活かした、新たな挑戦が生まれる 「白潟周辺ゾーン」

- ・遊休不動産を活用した多様なコンテンツの集積
- ・安心して歩ける歩行空間の創出
- ・お茶や和菓子、蔵やお寺に親しむ機会の創出

松江駅前

多くの来訪者が憩い集う松江の玄関 「松江駅周辺ゾーン」

- ・南北駅前広場の機能の再配置
- ・駅から西方向へ歩きたくなる空間や店の連担の創出
- ・伊勢宮町において、夜間の歩行者専用道路化